

# きょうこうコンサート

in 千葉県立君津特別支援学校

平成27年度から始まった「きょうこうコンサート」も今年で7年目を迎えました。毎年、特別支援学校の子どもたちと一緒に音楽に触れあい、楽しい時間を過ごしています。今年度もコロナウイルス感染対策として、各学校人数を分けてコンサートを開催いたします。今回は10月27日(水)に千葉県立君津特別支援学校で行われたコンサートの様子をご紹介します。



▲ 後列左から安西支部長、渡辺校長先生、塚田参事、玉川LC、小藤田LC  
前列左からジョーくん、ハッチポッチクインテット伊藤さん、齋藤さん、野口さん、田村さん、藤本さん

ジョーくんとは…東京海上日動のキャラクター『東京海ジョー』だジョ

木々の緑が紅く色づく季節になり、きょうこうコンサートが始まりました。渡辺校長先生のご挨拶のあと、打楽器をたたきながらハッチポッチクインテットの登場です。

まずは星野源さんの『ドラえもん』の曲に合わせて様々な打楽器を紹介していきます。「次はポケットから何が出てくるのだろう」と子どもたちはワクワクしていました。『人生ギロギロ』はギロという楽器だけを使い、ギザギザ音を出してリズムを作ります。コミカルなパフォーマンスに子どもたちは釘付けです。『さくらのうた』は吹奏楽の人気曲で、美しく、どこか切ないメロディーが印象的です。『アロハ・エ・コモ・マイ』はリロ&スティッチのテーマソング。スティールパンの優しい音色で南国に行った気分。みんなで一緒にボディパーカッションをして盛り上がりました。(スティールパンは、なんとドラム缶で作られているのですよ。)ライオンキングのナンバー『サークル オブ ライフ』は力強く、ジェンベ(ジャンベ)の鼓動が身体中に響き、アフリカの広大な草原が目浮かぶようです。アンコールは皆が大好きな曲『パプリカ』です。歌ったり踊ったり、子どもたちの喜んでいる姿が印象的でとても感動しました。

今回も生の音楽に触れられる素敵な時間を君津特別支援学校の皆さんと過ごすことができました。



▲ ポケットの中は打楽器がいっぱい!



▲ 人生ギロギロ



▲ スティールパン



▲ アフリカの代表的な太鼓  
ジェンベ



▲ 音楽に合わせてみんなで  
ボディパーカッション♪



心のこもったお手紙をたくさんいただきました!!

君津特別支援学校のみなさんありがとうございました!!

# ライフプラン・ コンサルタント(LC)の 学校訪問

◆ 第 11 回 ◆

今回訪問した学校  
市原市立  
戸田小学校



学校データ  
(令和3年7月1日現在)  
〒290-0221  
市原市馬立830番地  
教職員数：14名  
学級数：9  
児童数：162名

## 地域も家族も学校も!みんな『戸田っ子』～歴史と伝統 全国で唯一の90年以上にわたる体育教育～

シリーズ11回目は、創立142年目を迎え、長い歴史と伝統を持つ、市原市立戸田小学校です。  
片山 博臣校長先生へのインタビューを、ジブラルタ生命木更津第一営業所の柳生LCが報告します!

### 片山博臣校長先生へのインタビュー

(このインタビューは令和3年7月1日に行われたものです。)

LC 校長先生こんにちは。本日は戸田小学校についてたくさんお話を聞かせてください。戸田小学校は今年度で創立142年と、歴史の長い学校ですよね。

校長 明治6年に馬立小学校から戸田尋常小学校になり、昭和42年に戸田小学校という名前になりました。学校の歴史も長いですが、本校では体育研究も昭和5年から始まり今年度で92回を迎え、とても長く続いています。



▲片山 博臣校長先生

LC 92年も同じ研究が続いているなんて凄いですね!

校長 昭和初期、活気のない戸田村を元気づけるため、当時の村長が体育を中心とした教育により健康で心豊かな人間を育もうと考えたことが始まりです。その時々先生や地域の方々が戸田体育の重要性を意識し、現在まで続いています。運動の種類は約200種類あります!

LC 200種類は凄いですね! 長い歴史のあるものだと、学校だけではなく、地域の方々にも親しみがありそうですし、校章も体育の戸田小ならではの校章だなあと感じていました。



▲公開研究会の資料

校長 『戸田体操クラブ』という活動があり、地域の方や近隣の学校の子も一緒に体操をしています。校章になっているポーズもそのひとつで、同級生同士や親が本校の卒業生で「お父さんお母さんも戸田体育をやったんだよ。」というような話もあります。実は校歌にも「アテネ」という言葉が入っていて、オリンピック発祥の地「アテネ」と戸田体育を結び付け、子どもたちの希望と憧れを持たせたいとの思いが込められています。



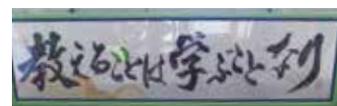
『連手体側屈』は協調と躍動を意味し、戸田体育の限らない発展を象徴し、「小」の中心は学問の象徴であるペンを形取っています。

### 校歌 歌詞 ※抜粋

～萌ゆる緑の南総にアテネの昔しのぶなる  
若きいのちはみなぎりに四肢に波うつわがけんじ～

LC 地域や保護者も戸田小の伝統を大事にされていて素晴らしいですね。子どもたちはどのような子どもが多いですか?

校長 とても素直で明るく、元気に挨拶ができます。運動や体育も一生懸命頑張れる子。また、柔軟性が高いと感じます。子どもたちと同じように職員も伝統がある学校ということ意識しながらすぐよくやってくれています。子どもたちには『文武両道』、教職員は『教えることは学ぶこと』を意識するよう呼びかけています。



LC 昨年からのコロナ禍で、学校も大変だったと思いますが、何か工夫していることはありますか?

校長 様々な対応が必要になりましたが、市原市ではタブレット端末とともに各教室に電子黒板も設置されていますので、それらを活用して対話的な学びを深めるようにしています。学校に来て学ぶ意義を問いなおす機会にもなったと思います。

LC いつも学校を訪問させていただく中で子どもたちだけではなく先生方も活気に満ちあふれていると感じます。最後に校長先生のモットーを教えてくださいませんか?

校長 学ぶことをやめたら教えることをやめなくてはならないということ、教員の姿・子どもの学ぶ姿を見て自分自身のやっていることを振り返る。感謝と謙虚ということを大事にしています。

LC 戸田小での学びは子どもたちだけではなく、教職員や保護者・地域の方々にとっても大切なものになりますね。本日はありがとうございました。

多忙な時でも職員室の雰囲気がとても明るく、訪問時に清々しい気持ちになります!これからも新しい情報をお届けし、皆さんのお役に立てようがんばります。



▲柳生 光裕 LC



専門家に  
素朴な質問を  
してみました

Part5

\*今回のテーマ\*

## 高齢社会における資産形成・管理について

専門家シリーズ第5弾!今回は、「高齢社会における資産形成・管理について」留意する点や今から準備したいがよくわからない?等のご質問をジブラルタ生命保険株式会社 大河仁さん(マーケティング・ディレクター)に質問してみました。

**Q:「老後資金2,000万円」問題とは何ですか?**

A:金融庁が2019年6月3日に公表した金融審議会の市場ワーキンググループ報告書「高齢化社会における資産形成・管理」の内容に基づき、当時このフレーズがニュース等にて取り上げられ、物議を醸しました。



**Q:本当に2,000万円も必要なのですか?**

A:夫婦世帯か、単身世帯かにもよりますし、現役時代の仕事や収入、支出状況により大きく異なります。あくまでも平均的なご夫婦の老後の収入・支出で見ると、年金収入20万9,198円に対して支出が26万3,717円で、月に約5万5,000円不足(総務省の家計調査より)。55,000円×12カ月=66万円×老後期間30年間=約2,000万円の不足となります。これを見ると、あながち大げさな金額ではないかもしれません。

**Q:以前から、「貯蓄から投資からへ」と言われていますがどういことでしょうか?**

A:金融を巡る大きな背景の変化として挙げられるのが、人口減少・高齢化の進展です。人生100年時代、「長生き」することはとても嬉しい事ですが、その分、お金が必要となってきます。上記の二つの質問でも取り上げましたが、老後は、貯蓄を取り崩す生活となります。お金の寿命を延ばすためには、現在の超低金利での預貯金等では対応が難しくなります。ですから、自助努力の一つとして、ある程度のリスクを取って「投資」にお金を振り分けていきたいと思います。ということです。



**Q:国は、何かの支援制度を準備してくれていますか?**

A:国は様々な資産形成の支援制度を準備してくれています。自助努力を支援する代表的な支援制度としては、「iDeCo」や「NISA」が挙げられます。「iDeCo」とは、個人型確定拠出年金のことで、自分が拠出した掛け金を、自分で運用し、資産形成する年金制度です。掛け金を60歳になるまで拠出し、60歳以降老齢給付金を受け取ることができます。基本的に20歳以上60歳未満の方が加入でき、投資信託等の金融商品で運用します。税制面で非常に優遇されており、毎月の掛け金が全額所得控除となり、積立期間中の増加資産は非課税となりますし、積立金受取(60歳以降)にも有利な控除を受けることができます。非常にメリットの大きな制度ですが、①原則60歳まで受け取れない、②運用リスクがある、③手数料がかかる等のデメリットもあります。メリット、デメリットをしっかりと理解した上で、ご利用を検討してみたいはかがでしょうか?

いずれにしても、少子高齢化、人口減により、これまでのように国の社会保障制度に頼っているばかりでは、豊かな人生は期待できない可能性が高くなっています。自らが考え、一層の「自助努力」が必要となってきています。皆様の人生が物心共により豊かなものとなるようお祈り申し上げます。



### ◆ 講師紹介 ◆

大河 仁 マーケティング・ディレクター  
ジブラルタ生命保険株式会社

日本FP協会認定ファイナンシャルプランナー

- モットー Let It Be
- 趣味 アウトドア・フライフィッシング・旅行・読書・料理
- 好きな言葉『夢七訓(淡沢栄一)』

### \*\*\*\* コメント \*\*\*\*

リタイアメントに対して持つイメージは、日本人は「ネガティブ」、欧米人は「ポジティブ」とよく言われます。この差は、たぶん知識と準備の差です。早いうちにご自身の豊かな未来に向け、ご準備されることをお勧めします。私たちが全力でお手伝いさせていただきます! よろしく願いいたします。

千葉教弘では、教育文化事業の一環として“キッズサプライズ”と提携して小・中学校等にユニフォームなどを贈呈する取り組みを行っています。

今年度は、いすみ市立大原中学校のバレーボール部にユニフォームを贈呈しました。

2021年11月7日(日)・いすみ市立大原中学校で行われた贈呈式では、千葉教弘代表・安西支部長の挨拶の後、同校バレーボール部員全員にユニフォーム一式が贈呈されました。

プレゼンターには日本代表でも活躍された元女子バレーボール選手の落合真理さんが登場し、部員一人ひとりにユニフォームを手渡したあとと激励のことばを贈りました。落合さんの熱いメッセージに部員全員が目を輝かせて聞き入っていました。

贈呈式後は、さっそくユニフォームに着替えて記念撮影。真新しいユニフォームに部員全員、笑顔が弾けてました。

その後、練習が行われ部員たちの真摯に取り組む姿に落合さんの指導にも徐々に力が入ってきて、体育館中に活気あふれる光景が見られました。



耳より情報

千葉教弘のホームページは

みなさまの声で

日々進化中!

千葉教弘のホームページでは、損害保険ページに「災害のメカニズム」や「防災情報」が学べる東京海上日動「防災・減災情報サイト」のリンクを掲載しています。

また、国土交通省の「ハザードマップ」へのアクセスもできますので、お住まいの地域の災害リスクが確認できます。日頃の防災への備えとしてぜひご活用ください。



千葉教弘ホームページ



東京海上日動ホームページ



※画像はイメージです

火災保険の見直しなどのお問い合わせもぜひ  
よろしくお願ひします



検索は 千葉教弘 損保

検索

URL <https://chibakyoko.jp>  
TEL 0120-10-8851 FAX 0120-70-8851  
E-mail [info@chibakyoko.co.jp](mailto:info@chibakyoko.co.jp)



千葉教弘が発行している広報誌「きょうこう千葉」は、県内の公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園・こども園に発送しています。